

出張講義のご案内



湘南医療大学

Shonan University of Medical Sciences

理学 001	ノーマライゼーションとは	研究室場所
	学科長 鶴見 隆正	東戸塚キャンパス A棟2階 学科長研究室 2

内容

誰もが年齢や身体機能、社会的マイノリティといったことに関係なく生活遂行できる社会環境を目指す考え方を指しますが、子どもの成長過程の事象からノーマライゼーションを考えてみましょう。



理学 002	小児疾患の理学療法について	研究室場所
	専攻長 坂上 昇	東戸塚キャンパス A棟1階 研究室 3

内容

理学療法の対象疾患は、成人だけではなくありません。先天的な疾患によって心身に障害を持った子どもも治療対象となります。多くの疾患がある中で、特に脳性麻痺の特徴や理学療法を講義したいと思います。多くの方が、小児の理学療法に興味を持っていただける切っ掛けになればと思います。



理学 003	失われた動作の再学習	研究室場所
	教授 大森 圭貢	東戸塚キャンパス A棟2階 研究室 1

内容

けがや病気をすると、箸で食事をする、ボールを投げる、自転車に乗るなど普段何気なくできている動作をすることが難しくなったりします。このような方が再び動作をできるようになるために、私たちはどのようなことに配慮したらよいか、一緒に考えましょう。



理学

あなたは「なぜ、そうする」の？

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟2階 研究室14

004

教授 小林 和彦

内容

健康に悪いと知りながら、喫煙や大量飲酒を止められない人がいます。その一方、健康に良いと知りながら、散歩やジョギングなどの運動を続けられない人もいます。自分は意志が弱いから、忍耐力がないからなどとあきらめている人も多いのではないのでしょうか。自分は、なぜそんなことをしてしまうのか。自分や他人の行動を、行動理論という眼鏡を通して見つめ直してませんか？



理学

人体の不思議

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟2階 研究室16

005

教授 柴田 昌和

内容

人体の身体のしくみについての不思議や疑問に関する講義を行います。例えば、体の表面から見えない骨ですが、我々にいろいろと語ってくれます。骨を見ることで男性なのか女性なのかの判別や年齢などを判別することができます。“なぜ”話すことない骨が、我々にいろいろなことを語りかけるのかなど解剖学的知見から解説します。



理学

筋力と日常生活活動との関連について

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟2階 研究室15

006

教授 森尾 裕志

内容

握力は、生命予後と関連する因子といわれ、高齢者における重要な体力指標の一つです。分析の結果、ペットボトルキャップを開栓するためには、15 kg 以上の握力が必要であることがわかりました。握力が弱い方を早期に見つける事が出来れば、私たちは、その方たちに対してフレイルなどの体力低下の予防を促すことが出来るかもしれません。



理学 007	介護保険サービスでの多職種連携	研究室場所 東戸塚キャンパス C棟2階 研究室41
	教授 山田 拓実	

内容

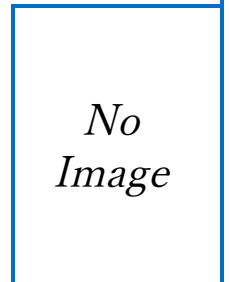
介護保険制度は、2000年（平成12年）4月から始まった制度で、これまで複数回の改正を重ねています。介護保険制度の現在の仕組みと課題を解説します。介護保険サービスには保健師、ケアマネージャー、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士等の多くの専門職が関わっています。また多職種協働による地域ケア会議には栄養士、薬剤師、歯科衛生士等も加わり要支援者の適正なサービスが検討され成果を上げています。専門職種が互いの専門性を活かし、一つのチームとして地域に働きかける意義をお話しします。



理学 008	人の動きを筋電図で見よう！	研究室場所 東戸塚キャンパス C棟2階 研究室31
	准教授 斉藤 琴子	

内容

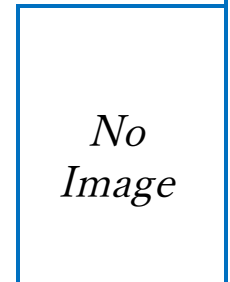
筋電図は、力の入れ具合によって筋肉から生じる電気的活動を図として表現したものです。痛みなどは何もありません。いつもは見る機会が少ない、筋繊維から発生するエネルギーを実際に見てみませんか？



理学 009	音楽によるストレスの軽減・認知症予防 (音楽療法の観点から)	研究室場所 東戸塚キャンパス C棟2階 研究室31
	准教授 斉藤 琴子	

内容

音楽は人に対して、生理的、心理的、社会的、認知的な状態に作用する力があります。音楽鑑賞だけでなく、歌、楽器演奏、ダンスなども当てはまります。音楽を通してストレスを発散する様子を「見える値」で説明したいと思います。また、音楽が認知症予防にどれだけ効果があるかをお話しできればと思います。



理学

010

動作の「困った」の原因をみえる化する — 日常動作とニュートンの運動法則の関係 —

准教授 櫻井 好美

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟2階 研究室28

内容

私は特殊な装置を用いて日常生活の様々な動きを力学的に分析しています。健康な人でも関節のわずかな動きの変化や、筋肉の活動のタイミングのずれが動作障害につながり、新たな傷害・障害の原因になることがあります。講義では実技を交えて動作障害の分析の視点についてお話しします。



理学

011

「ちょっと漏れる」の男女差 — 理学療法における性差 —

准教授 櫻井 好美

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟2階 研究室28

内容

私は性差を考慮した理学療法「ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法」の普及と発展のために活動しています。「おむつを使うほどではないけれど、何気ないタイミングで尿漏れを起こしてしまう。」男女問わず起こりうる問題です。しかしその機序は男女で異なります。最近では基礎疾患のない10代20代の方の尿漏れも報告されています。性差を考慮した医療・理学療法について、排泄機能障害の観点からお話しします。



理学

012

スポーツに関わる理学療法士の役割

准教授 中尾 陽光

研究室場所

東戸塚キャンパス
A棟2階 研究室13

内容

理学療法士がスポーツに関わるということはどういう意味を持つのでしょうか？
ケガの予防、再発予防のために、動作の専門家としての理学療法士が、どのようにスポーツに対して役割を担えるのか？
また理学療法士がスポーツに関わることと、トレーナーや柔道整復師・鍼灸按摩マッサージ師がスポーツに関わることと何が違うのでしょうか？
今まで子どもやスポーツ愛好家から、プロ選手などのトップアスリートまで、様々な方々に実施してきたスポーツ理学療法について、経験に基づいてお話ししたいと思います。



理学 013	理学療法士として社会に貢献出来ること	研究室場所 東戸塚キャンパス A棟 2階 研究室 13
	准教授 中尾 陽光	

内容

みなさんは、理学療法士という資格をご存知でしょうか？
ご存知の方でも、病院で手足を動かす運動や歩く練習を行っているリハビリの人というイメージが強いのではないのでしょうか？
もう少し理学療法士の仕事を掘り下げ、「理学療法士」という国家資格によって、社会にどのような貢献ができるのか、体験を通して一緒に考えてみましょう。



理学 014	脳の不思議体験—錯覚から理解する脳の仕組み—	研究室場所 東戸塚キャンパス C棟 2階 研究室 32
	講師 大村 優慈	

内容

私たちは、目をつぶっていても、自分の腕が伸びているのか曲がっているのかわかります。
また、自分の手と他人の手を容易に区別することができます。目の前に置いてあるものに手を伸ばすことも簡単です。ただ、ちょっとしたイタズラをされると、私たちの脳はたちまち混乱し、普段簡単に行えていたことができなくなってしまいます。このような不思議な現象の体験を通して、脳の仕組みに対する理解を深めてみませんか？



理学 015	頭の中ってどうなっているの？—MRIでみる脳の内部—	研究室場所 東戸塚キャンパス C棟 2階 研究室 32
	講師 大村 優慈	

内容

私たちの頭の中には、脳が入っています。でも、脳を直に見るためには頭蓋骨を外さないといけませんから、脳を実際に見たことがある人はいませんよね？
ところが、MRIという機械を使えば、頭蓋骨を外さなくても脳を見ることができます。それも、脳の表面だけでなく、その中身まで詳細に。MRIで撮影された様々な画像を見ながら、一緒に脳の内部を探検してみませんか？



理学

家族が脳卒中になったらどうする？ —治療・リハビリ・介護・再発予防—

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室32

016

講師 大村 優慈

内容

脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりして起こる病気で、要介護となる原因としては、認知症に次いで2番目に多い病気です。もし自分の家族が脳卒中になったらどうしたらよいのでしょうか。その治療、リハビリ、介護、再発予防についてお話ししたいと思います。



理学

災害支援と理学療法

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室39

017

講師 下田 栄次

内容

最近、毎年のように地震や大型台風による豪雨災害が全国各地で起きています。また避難が必要になった場合には、感染対策も警戒していかなければなりません。では、実際に避難することになった場合、どのような基準で避難を判断すればよいのでしょうか？ご高齢の方や障がいを持った方は、どうすればよいのでしょうか？これまで理学療法士として行ってきた、災害が起きた後のさまざまな支援についてお話しします。



理学

安全登山活動と理学療法

研究室場所

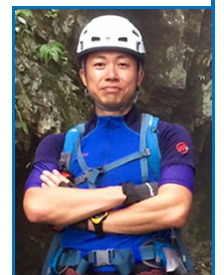
東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室39

018

講師 下田 栄次

内容

神奈川県には、東京都、山梨県にまたぐ丹沢山塊（たんざわさんかい）とよばれる大きな山脈があります。私は、理学療法士として山岳救助隊（丹沢遭難対策協議会）に所属しています。救助隊活動の一環として、定期的に安全登山教室も開催しています。山登りでケガをしない体づくりから、万が一、山登り中のケガやトラブルに見舞われた時の対処方法についてお話しします。



理学

物理療法ってなんだろう？

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室32

019

講師 土田 将之

内容

何だか難しそうな名前の治療法ですが、電気や熱などの色々なエネルギーを使うことで、患者さんの痛みをとってあげたり、筋力の向上を助けてあげることが出来る治療法です。古くは古代ローマ時代から行われていましたが、現在でも地域のお年寄りからオリンピックアスリートまで、幅広い方々に受け入れられています。そんな古くて新しい治療法について、実際の機器の使い方も紹介しながらお話ししたいと思います。



理学

糖尿病と理学療法

研究室場所

東戸塚キャンパス
C棟2階 研究室39

020

講師 中村 壽志

内容

運動をする際に、体の中で糖分がどのように活用されるのか、脂肪との関連など、体内で行われている糖と運動の仕組みについてお話しします。



湘南医療大学

入試事務室

〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16-48

TEL. 045-821-0115

FAX. 045-821-0127

E-mail : nyushi@sums.ac.jp

HP : <https://sums.ac.jp>